



こんにちは♪

民主 苦小牧号外  
2026年  
4.5  
No.1135

日本共産党市議会議員  
**小野寺ゆきえ**です!



## いつかまた還暦旅行

新年度になりましたね。社会人なる方や進学・進級される方、転職や異動される方もいるでしょう。ワクワクとドキドキ、希望と不安が入り交る時期ですね。私は3月に59歳になりました。同級生は今年還暦を迎えます。

私は、友人と年に数回“女子会（お食事会）”をしています。いつも集まるのは6人。西高テニス部時代のメンバーです。10年前に「還暦になったらみんなで旅行に行こう」と計画していました。いよいよ今年が還暦旅行!! 時期は11月と決めました。そして「具体的な計画を」と集まった先日、友達の1人が癌であることを打ち明け、手術はできず、これから治療を始めること、そして11月まで生きられるかどうか分からないことも話しました。

心の中に大きな穴が開いたように衝撃が走りました。新たな出発の4月を迎える境地にはなれません。もちろん還暦旅行は延期。治療が落ち着いたら、近くの温泉にでも行

こうとみんなで話し合いました。でも大きな希望があります。友達が受ける治療は免疫治療という先進医療です。私は、きっと元気になってくれると信じます。

西高テニス部メンバーは、高校卒業後も仲が良く、22歳頃にはディズニーランドに旅行に行きました。だから還暦旅行は、ディズニーシー（海をテーマにしたテーマパーク）に行こうという計画でした。でも、おばさんになった私たちの中には、「膝が痛いんだよね。歩けるかな～」・・・こんな会話が飛び交っています。

私はそもそも運動音痴で、特に球技が苦手です。それなのに私がテニス部に入ったのは、その友達がいからです。友達とは中学校時代も同級生でした。「西高に入学してもクラスが分かれてしまったら、なかなか会えなくなるから、部活だけでも同じにしよう」と誘われ、「テニスなんてできないよ」と拒む私を、半ば強引に入部させたのがその友達です。結果的に、大人になってもみんなと仲良しでいられたことは、かけがえのない財産であり、友達のおかげです。

今、先進医療も保険適用になるものが増えてきました。一方で、国会では高額療養費の引き上げが議論されており、患者の負担を増やそうとしています。友達の病気を知り、他人事ではありません。お金の心配せずに安心して受けられる医療こそ重要だと痛感します。